

TV 視聴・検索ログデータでみる、「東京都知事選」

株式会社インテージ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:石塚 純晃)は、18歳から69歳までの男女に対して、2016年度東京都知事選挙についてのインターネット調査を行いました。本調査は、公示日翌日・投票1週間前・投票直後の3回調査することで、支持がどのように変わっていったのかを分析しました。また、インテージが所有する「i-SSP※(インテージシングルソースパネル)」のTV視聴ログや検索ログデータを用いて、どのくらいの方が今回の都知事選に対して興味をもって接していたのかを明らかにしました。

分析者:株式会社インテージ MCA 事業本部 リサーチエクスペリエンス室 川田瑞穂

[分析結果のポイント]

- 鳥越・増田票の2割を持っていき、小池氏の「圧勝」。
- 投票へ行った男性20代は、全体傾向と比較してニュース・報道番組の視聴時間がおよそ2倍。
- インターネット利用者で「都知事選」に関して検索したのは7.7%。

[調査概要]

調査期間: 公示翌日調査/2016年7月15日(金)~7月19日(火)
投票1週間前調査/2016年7月22日(金)~26日(火)
事後調査/7月31日(日)20:00~8月4日(木)

調査方法: インターネット調査
i-SSP(インテージシングルソースパネル)分析

調査エリア: 東京都
調査実施期間: 株式会社インテージ

※i-SSP(インテージシングルソースパネル)

当社の主力サービスであるSCI(全国個人消費者パネル調査)を基盤に、同一対象者から新たにパソコン・スマートフォン・タブレット端末からのウェブサイト閲覧やテレビ視聴情報に関するデータを収集するものです。当データにより、テレビ・パソコン・スマートフォン・タブレット端末それぞれの利用傾向や接触率はもちろん、同一対象者から収集している購買データとあわせて分析することで、消費行動と情報接触の関係性や、広告の効果を明らかにすることが可能となります。また、調査対象者に別途アンケート調査を実施することにより、意識・価値観や耐久財・サービス財の購買状況を聴取し、あわせて分析することも可能です。

※i-SSP(読み方:アイエスエスピー)/シングルソースパネルは株式会社インテージの登録商標です。

[分析結果]

1. 投票意向の推移

投票直後の調査で聞いた「投票した候補」の割合は実際の得票率とほぼ近いものであった。(表 1)
 実際の得票率に対して、小池氏の調査結果がやや高く、鳥越氏・増田氏の調査結果がやや低くなっているのは、今回の調査に 70 代以上が含まれていないことが原因と考えられる。
 前回、都知事選調査(※前回 URL: <http://www.intage.co.jp/library/20070427/>)ではきわめて再現性が高かったことから、今回の都知事選は年代による投票の差が大きかったと思われる。

[表 1] 得票結果と調査結果の比較

	得票結果		調査結果(%)		
	得票数	得票率 (%)	公示日翌日調査	投票1週間前調査	事後調査
鳥越俊太郎	1,346,103	20.6	30.7	21.4	17.3
増田寛也	1,793,453	27.4	19.0	22.4	22.2
小池百合子	2,912,628	44.5	43.7	48.1	50.0
高橋尚吾	16,664	0.3	0.4	0.1	0.5
谷山雄二郎	6,759	0.1	0.0	0.0	0.1
桜井誠	114,171	1.7	1.6	1.9	2.3
マック赤坂	51,056	0.8	1.7	1.1	1.5
山口敏夫	15,986	0.2	0.4	0.1	0.1
山中雅明	3,116	0.0	0.1	0.0	0.1
後藤輝樹	7,031	0.1	0.0	0.1	0.0
岸本雅吉	8,056	0.1	0.0	0.2	0.3
上杉隆	179,631	2.7	2.0	3.1	3.4
七海ひろこ	28,809	0.4	0.1	0.6	0.7
中川暢三	16,584	0.3	0.0	0.0	0.3
関口安弘	1,326	0.0	0.0	0.0	0.0
立花孝志	27,242	0.4	0.1	1.0	1.0
宮崎正弘	4,010	0.1	0.0	0.0	0.0
今尾貞夫	3,105	0.0	0.0	0.0	0.0
望月義彦	3,332	0.1	0.0	0.0	0.0
武井直子	4,605	0.1	0.0	0.0	0.0
内藤久遠	2,695	0.0	0.0	0.0	0.1

※投票先を「わからない」「白紙投票」「答えたくない」と回答した人は 母数から除く。

※小数点以下の按分票は四捨五入し、表示。

(1)集計期間

公示日翌日調査：2016年7月15日～2016年7月19日

投票1週間前調査：2016年7月22日～2016年7月26日

事後調査：2016年7月31日 20:00 ～ 2016年8月4日

(2)集計対象者：インテージCueモニター(男女18-69歳)

公示日翌日調査・投票1週間前調査・事後調査すべて回答者

(3)ウェイト値：東京都の人口構成比に合わせた、集計時ウェイトバック

【得票率引用元】

<http://www.senkyo.metro.tokyo.jp/election/tochiji-all/tochiji-sokuhou2016/>

事後調査 性年代別投票先

1段目 横%	TOTAL	鳥越俊太郎	増田寛也	小池百合子	その他候補者
TOTAL	978	17.3	22.2	50.0	10.4
男性15-19歳	14	7.1	35.7	35.7	21.4
男性20-29歳	81	7.4	22.2	54.3	16.0
男性30-39歳	86	16.3	22.1	44.2	17.6
男性40-49歳	99	17.2	20.2	55.6	7.0
男性50-59歳	103	19.4	15.5	50.5	14.5
男性60-69歳	120	31.7	23.3	42.5	2.4
女性15-19歳	46	13.0	28.3	41.3	17.4
女性20-29歳	59	5.1	35.6	50.8	8.5
女性30-39歳	76	11.8	19.7	53.9	14.4
女性40-49歳	77	13.0	20.8	53.2	13.0
女性50-59歳	102	14.7	23.5	52.9	8.9
女性60-69歳	115	29.6	23.5	44.3	2.6

※投票先を「白紙投票」「答えたくない」と回答した人は 母数から除く。

※事後調査は、実際に投票に行った人のみ対象。

※男性10代は、サンプル数些少のため、参考値

(1)集計期間

事後調査：2016年7月31日 20:00 ～ 2016年8月4日

(2)集計対象者：インテージCueモニター(男女18-69歳)

公示日翌日調査・投票1週間前調査・事後調査すべて回答者

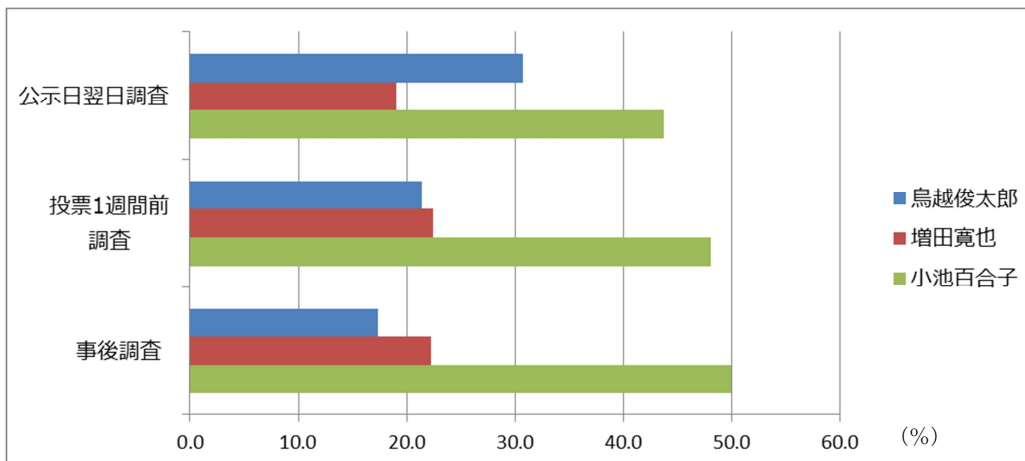
(3)ウエイト値：東京都の人口構成比に合わせた、集計時ウエイトバック

主要 3 候補で、公示日翌日からの投票意向の推移を確認した。(表 2)

公示日翌日時点で、鳥越氏はおおよそ 3 割の支持があったが、投票 1 週間前に失速してしまった。

小池氏の投票意向をみると、公示日翌日時点より他 2 候補と比較して、高い支持を獲得していた。投票意向率は高い割合で推移し、最終投票結果でも圧勝であったことが今回の調査結果からも示された。

[表 2] 投票意向推移



※投票先を「わからない」「白紙投票」「答えたくない」と回答した人は 母数から除く。

※事後調査は、実際に投票に行った人のみ対象。

(1)集計期間

公示日翌日調査：2016年7月15日～2016年7月19日

投票1週間前調査：2016年7月22日～2016年7月26日

事後調査：2016年7月31日 20:00 ～ 2016年8月4日

(2)集計対象者：インテージCueモニター(男女18-69歳)

公示日翌日調査・投票1週間前調査・事後調査すべて回答者

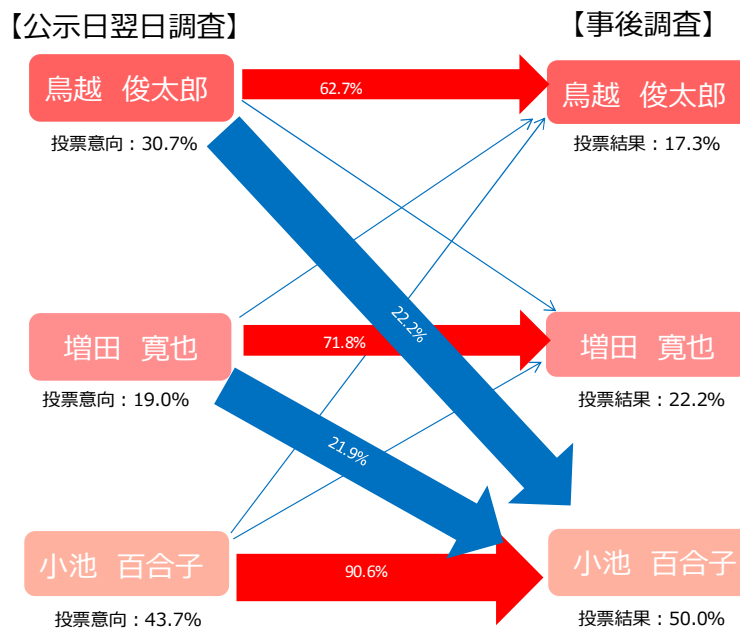
(3)ウエイト値：東京都の人口構成比に合わせた、集計時ウエイトバック

次に、鳥越氏、増田氏、小池氏の3候補間の支持率の変化を分析した。(表3・表4)

公示日翌日時点での支持者のうち、小池氏は90.6%、鳥越氏は62.7%、増田氏は71.8%が最終的にも投票するという結果になった。

公示時点では、鳥越氏・増田氏を支持していた有権者のいずれも2割が、最終的には小池氏へと投票を変え間初期の支持者を囲いこむことができただけでなく、選挙活動によって更なる支持を集めることにも成功した。

[表3] 3候補者間の支持率の推移



[表4] 候補者間での支持の推移

		事後調査				
公示日翌日調査	横%	TOTAL	鳥越俊太郎	増田寛也	小池百合子	その他候補者
	TOTAL	538	20.2	20.0	52.0	7.8
鳥越俊太郎	164	62.7	8.7	22.2	6.3	
増田寛也	112	2.1	71.8	21.9	4.3	
小池百合子	232	1.8	6.2	90.6	1.5	
その他候補者	30	0	6.3	13.8	80.0	

※投票先を「わからない」「白紙投票」「答えない」と回答した人は母数から除く。

※事後調査は、実際に投票に行った人のみ対象。

(1)集計期間

公示日翌日調査:2016年7月15日~2016年7月19日

事後調査:2016年7月31日 20:00~2016年8月4日

(2)集計対象者:インテージCueモニター(男女18-69歳)

公示日翌日調査・事後調査両方回答者

(3)ウエイト値:東京都の人口構成比に合わせた、集計時ウエイトバック

2. 選挙期間中のニュース・報道番組視聴状況

有権者が選挙期間中にどのくらいニュース・報道番組を視聴しているのか弊社の「i-SSP」ログデータを利用して、確認した。(表5)

その結果、若年層ほどニュース・報道番組の視聴時間が短く、年齢があがるにつれて視聴時間が長くなる傾向だった。

また、全体と都知事選の投票へ行った人で、ニュース・報道番組の視聴時間に差がないか比較した。傾向として、男性で都知事選の投票に行った人は、全体よりもニュース・報道番組の視聴時間が長いことがわかった。特に男性20代はその傾向が顕著で、ニュース・報道番組の視聴が投票行動に影響していると考えられる。女性は、ニュース・報道番組の視聴時間と投票行動に関係性はないようだ。

[表5]

全体

	n=	1日あたりの平均視聴時間(分)
男性10代	15	13
男性20代	105	15
男性30代	176	19
男性40代	290	25
男性50代	267	40
男性60代	179	53
女性10代	14	4
女性20代	120	13
女性30代	172	16
女性40代	226	24
女性50代	135	37
女性60代	65	44

※男女10代はサンプル数些少のため、参考値
 (1)集計期間:2016年7月14日~7月30日
 (2)集計対象者: i-SSP TVモニター(男女10-60代)
 東京在住者

都知事選投票者

	n=	1日あたりの平均視聴時間(分)
男性10代		
男性20代	33	31
男性30代	47	24
男性40代	62	24
男性50代	54	47
男性60代	64	61
女性10代		
女性20代	31	14
女性30代	32	15
女性40代	54	25
女性50代	64	37
女性60代	42	46

(1)集計期間:2016年7月14日~7月30日
 (2)集計対象者: i-SSP TVモニター(男女20-60代)
 東京在住者
 事後調査Q2「投票へ行った」回答者。

選挙期間中に報道番組を視聴していた人は、具体的にどの番組を見ていたのでしょうか。弊社の「Audience Sketch」を用いて、2016年7月の報道番組視聴ランキングを紹介する。

投票結果調査において、鳥越氏・増田氏・小池氏のいずれかに投票した回答者のランキングを提示する。

3候補で比較すると、鳥越氏の投票者は、NHKを中心に視聴している。

[表 6]

鳥越氏投票者の7月度報道番組視聴ランキング n=37

順位	番組名	放送日時	チャンネル	接触率(%)
1	NHKニュースおはよう日本	2016/7/28 6:19	NHK総合・東京	36.7
2	NHKニュースおはよう日本	2016/7/18 7:00	NHK総合・東京	35.4
3	NHKニュースおはよう日本	2016/7/19 4:30	NHK総合・東京	34.4
4	NHKニュースおはよう日本	2016/7/14 4:30	NHK総合・東京	32.0
5	サンデーモーニング	2016/7/24 8:00	TBS	31.9
6	NHKニュースおはよう日本	2016/7/30 6:00	NHK総合・東京	30.5
7	NHKニュースおはよう日本	2016/7/20 4:30	NHK総合・東京	30.1
8	グッド！モーニング	2016/7/26 4:55	テレビ朝日	27.9
9	NHKニュースおはよう日本	2016/7/24 7:00	NHK総合・東京	27.7
10	NHKニュースおはよう日本	2016/7/29 4:30	NHK総合・東京	27.6
11	サンデーモーニング	2016/7/17 8:00	TBS	25.8
12	週刊ニュース深読み	2016/7/16 8:15	NHK総合・東京	25.7
13	グッド！モーニング	2016/7/20 4:55	テレビ朝日	25.5
14	ニュース・気象情報	2016/7/18 9:00	NHK総合・東京	25.4
14	ライフUP	2016/7/18 9:10	NHK総合・東京	25.4

一方で、増田氏・小池氏の投票者は民放を中心に視聴していた。

増田氏投票者の7月度報道番組視聴ランキング n=43

順位	番組名	放送日時	チャンネル	接触率(%)
1	新・情報7daysニュースキャスター	2016/7/16 22:00	TBS	28.9
2	ニュースウオッチ9	2016/7/18 21:00	NHK総合・東京	23.1
3	NEWS ZERO	2016/7/27 23:00	日本テレビ	22.1
4	新・情報7daysニュースキャスター	2016/7/23 22:00	TBS	21.8
5	Mr. サンデー	2016/7/24 22:30	フジテレビジョン	21.6
6	新・情報7daysニュースキャスター	2016/7/30 22:00	TBS	20.1
7	報道ステーション	2016/7/22 21:54	テレビ朝日	19.2
8	首都圏ニュース845	2016/7/28 20:45	NHK総合・東京	17.5
9	NEWS ZERO	2016/7/14 23:00	日本テレビ	17.4
10	NEWS ZERO	2016/7/26 23:00	日本テレビ	17.2
11	報道ステーション	2016/7/21 21:54	テレビ朝日	16.9
12	報道ステーション	2016/7/14 22:09	テレビ朝日	16.7
13	報道ステーション	2016/7/25 21:54	テレビ朝日	16.6
14	報道ステーション	2016/7/18 21:54	テレビ朝日	16.3
15	報道ステーション	2016/7/28 21:54	テレビ朝日	16.2

小池氏投票者の7月度報道番組視聴ランキング

n=120

順位	番組名	放送日時	チャンネル	接触率(%)
1	報道ステーション	2016/7/26 21:54	テレビ朝日	20.0
2	報道ステーション	2016/7/25 21:54	テレビ朝日	19.4
3	報道ステーション	2016/7/15 21:54	テレビ朝日	19.0
4	新・情報7daysニュースキャスター	2016/7/30 22:00	TBS	18.5
5	報道ステーション	2016/7/20 21:54	テレビ朝日	18.0
6	報道ステーション	2016/7/29 21:54	テレビ朝日	17.5
7	NEWS ZERO	2016/7/27 23:00	日本テレビ	16.8
8	報道ステーション	2016/7/21 21:54	テレビ朝日	16.7
9	新・情報7daysニュースキャスター	2016/7/23 22:00	TBS	16.6
10	報道ステーション	2016/7/22 21:54	テレビ朝日	15.3
11	ZIP!	2016/7/15 5:50	日本テレビ	15.1
12	ニュースウオッチ9	2016/7/27 21:00	NHK総合・東京	14.9
12	ニュースウオッチ9	2016/7/29 21:00	NHK総合・東京	14.9
14	ニュースウオッチ9	2016/7/20 21:00	NHK総合・東京	14.8
14	ZIP!	2016/7/29 5:50	日本テレビ	14.8

※TV視聴ランキングよりニュース・報道番組を抜粋し、上位15個を表示

(1)集計期間:2016年7月14日~7月30日

(2)集計対象者:i-SSP TVスタンダードモニター(男女20-60代)
事後調査回答者

(3)ウェイト値:人口構成比に合わせて、集計時ウェイトバック

3. 選挙期間中の検索ログデータ

先ほどは、選挙期間中のTV番組視聴に関して触れた。ここでは、「i-SSP」の検索ログデータを用いて、都知事選に関する関心を探りたい。

選挙期間中に、インターネットで都知事選に関する単語を検索したのは、全体の7.7%だった。

性年代で比較すると、女性20代での検索率が低く2.7%。男性20代での検索率は10.0%と最も高かった。

[表7]

横%	n=	検索率
TOTAL	3133	7.7%
男性10代	34	5.9%
男性20代	221	10.0%
男性30代	303	9.2%
男性40代	456	7.9%
男性50代	476	8.2%
男性60代	319	7.5%
女性10代	22	4.5%
女性20代	220	2.7%
女性30代	294	8.2%
女性40代	393	6.4%
女性50代	278	9.0%
女性60代	117	7.7%

※女性10代はサンプル数些少のため、参考値。

(1)集計期間:2016年7月15日~7月30日

(2)集計対象者:i-SSP PCモニター(男女10-60代)
東京在住者

次に、実際にどのような言葉が検索されていたのか確認した。(表 8)

「都知事」の検索率がおよそ3割であった。次いで、小池氏、鳥越氏、増田氏の主要3候補が検索されていた。政見放送がインターネット上で話題になった後藤氏は7.0%の検索率であった。

[表 8]

n=472

検索ワード	検索率
都知事	29.9%
小池百合子	12.3%
鳥越俊太郎	11.9%
増田寛也	7.0%
後藤輝樹	7.0%
候補者	6.1%
マック赤坂	4.9%
桜井誠	4.9%
上杉隆	4.0%
武井直子	2.5%
七海ひろこ	2.1%
立花孝志	1.9%
山口敏夫	1.5%
谷山雄二朗	1.1%
公示	0.8%
中川暢三	0.6%
岸本雅吉	0.4%
高橋尚吾	0.4%
告示	0.4%
宮崎正弘	0.2%

(1)集計期間:2016年7月15日~7月30日

(2)集計対象者:i-SSP PCモニター(男女10-60代)

東京在住者

性年代ごとに、どのような言葉を検索していたのか確認した。(表 9)

どの年代でも「都知事」という言葉が最も、検索されている。候補者名の検索は、性年代ごとに差がみられた。

主要3候補では、鳥越氏は女性60代でよく検索されていた。

一方、増田氏は女性にはあまり検索されなかった。インターネットで話題になった、後藤氏は男性10代で都知事と同程度検索されている。

[表 9]

	n	都知事選全般に関する言葉					候補者の名前														
		都知事	候補者	公示	告示	鳥越	増田	小池	高橋	谷山	桜井	マック	山口	後藤	岸本	上杉	七海	中川	立花	宮崎	武井
男性10代	34	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性20代	221	5.4%	1.4%	0.5%	0.5%	3.2%	2.3%	1.4%	0.0%	0.0%	2.3%	2.7%	0.5%	1.4%	0.0%	1.8%	0.9%	0.5%	0.0%	0.0%	1.4%
男性30代	303	5.6%	1.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.0%	0.7%	0.0%	0.7%	0.7%	0.0%	3.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.3%	
男性40代	456	4.2%	0.2%	0.4%	0.0%	1.1%	0.7%	2.2%	0.4%	0.0%	1.1%	0.2%	0.4%	1.3%	0.2%	0.7%	0.0%	0.7%	0.0%	0.4%	
男性50代	476	4.8%	1.1%	0.0%	0.0%	1.5%	1.7%	2.5%	0.0%	0.2%	0.6%	0.6%	0.2%	0.4%	0.0%	0.8%	0.4%	0.2%	0.4%	0.2%	
男性60代	319	5.6%	1.3%	0.0%	0.0%	3.4%	1.3%	2.8%	0.0%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
女性10代	22	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
女性20代	220	2.3%	0.9%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	
女性30代	294	5.1%	1.7%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%	1.0%	0.0%	0.0%	0.3%	1.0%	0.3%	1.4%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
女性40代	393	3.1%	0.8%	0.3%	0.3%	1.3%	0.5%	1.3%	0.0%	0.0%	0.5%	1.5%	0.5%	0.5%	0.0%	1.3%	0.3%	0.3%	0.0%	0.5%	
女性50代	278	4.3%	0.4%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	3.2%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
女性60代	117	5.1%	1.7%	0.0%	0.0%	4.3%	0.9%	2.6%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	0.0%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	

※女性10代はサンプル数些少のため、参考値。

(1)集計期間:2016年7月15日~7月30日

(2)集計対象者:i-SSP PCモニター(男女10-60代)

東京在住者

【株式会社インテージ】 <http://www.intage.co.jp/>

株式会社インテージ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:石塚 純晃)は、インテージグループ各社とともに、リサーチノウハウ、データ解析力、システム化技術と、これらに基づく情報評価力をコア・コンピタンスとして、経営およびマーケティング上の意思決定に役立つ情報(Intelligence)を提供。生活者とお客様を「情報」でつなぎ、お客様のビジネスの成功に貢献することによって、その先の生活者の暮らしを豊かにすることを目指します。

【報道機関からのお問い合わせ先】

■株式会社インテージ 広報担当

担当:小林(こばやし)／石渡(いしわた)

TEL:03-5294-6000 FAX:03-5294-8358

サイト「お問い合わせフォーム」

<http://www.intage.co.jp/contact/>

【調査データに関するお問い合わせ先】

■株式会社インテージ

MCA 事業本部

Mail : senkyo-support@intage.co.jp